学校番号	314

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	「NEXT　数学 II」　（数研出版）						
副教材等	「CONNECT 数学 II+B」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ 授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・ 「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・ 問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の学習を通じて、物事を多面的にみたり目的に応じて式などを適切に変形したりする力，事象の関係に着目し，論理的に考察し表現する力，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	上記の内容について、 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	上記の内容について、物事を多面的に見たり目的に応じて式などを適切に変形したりする力、事象の関係に着目し、論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身につけ、社会の事象などから設定した問題について適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり解決の過程や結果を批判的に考察し判断することができる。	上記の内容の学習を通じて、数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 式と証明	第1節　式と計算 1.3次式の展開と因数分解 2.二項定理 3.整式の割り算 4.分数式とその計算 5.恒等式 第2節　等式･不等式の証明 6.等式の証明 7.不等式の証明	a: 整式の除法，分数式の計算，式の証明などの基本的な概念，原理，用語･記号を理解し，基礎的な知識を身に付けている。 b: 整式の除法や分数式の計算，式の証明を通して式の見方を豊かにし，数学的に考察することができる。 c: 整式の除法，分数式，式の証明に関心をもち，それらを問題の解決に活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察

	第2章　複素数と方程式	第1節　複素数と2次方程式の解 1. 複素数とその計算 2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係 第2節　高次方程式 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式	a: 数の複素数までの拡張，2 次方程式，高次方程式などの概念，原理を順序立てて理解している。 b: 数の範囲を拡張することによって2次方程式の解を発展させることや高次方程式を解くことを数学的に考察することができる。 c: 複素数解まで発展させた 2 次方程式及び高次方程式を解くことに関心をもち，それらを問題の解決に活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察
2学期	第3章　図形と方程式	第1節　点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係 第2節　円 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 第3節　軌跡と方程式 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域	a: 平面図形や座標や式を利用して表現することができる。また点や直線，円に関する公式を用いて問題を解決することができる b: 座標や式を用いて平面図形の性質や関係を数学的に考察することができる。 c: 基本的な平面図形の性質や関係，点や直線，円の位置関係を調べる際に，座標を用いることの有用性を認識し，活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察
	第4章　三角関数	第1節　三角関数 1. 角の拡張 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用 第2節　加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用	a: 三角関数のグラフを表すことができ，またその性質を利用して問題を処理することができる。 b: 三角比の拡張を通して，三角関数を論理的に考えることができる。 c: 角を一般角に拡張して，数学Ⅰで学習した三角比を発展させて考えようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察

3学期	第5章 指数関数と対数関数	第1節 指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 第2節 対数関数 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数	a: 指数関数・対数関数の性質やグラフの特徴を理解している。 b: 累乗の拡張を通して，指数関数，対数関数を論理的に考えることができる。 c: 数の累乗を拡張させて指数関数を，またその逆として対数関数を考えようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察
	第6章 微分法と積分法	第1節 微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式 第 2 節 関数の値の変化 4. 関数の増減と極大･極小 5. 関数の増減･グラフの応用 第3節 積分法 6. 不定積分 7. 定積分 8. 定積分と面積	a: 微分係数や導関数及び不定積分，定積分の意味を理解している。 b: 微分係数や導関数についての数学的な見方を身に付け，具体的な事象を考察することができる。 c: 関数の変化やその割合について関心をもち，調べようとする。さらに微分係数，導関数の導入について関心を示す。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト	提出ノート 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度